

別紙資料（１）聖マリア病院と久留米消防署の総合防災訓練 実施要領

1 訓練目的

本訓練は、2016年熊本地震を踏まえ、大規模地震発生時の聖マリア病院（災害対策本部、DMAT、自衛消防隊等）における迅速・効果的な初動体制の確立と災害拠点病院としての役割を再確認するとともに、久留米消防署との連携強化を図り、効率・効果的な指揮体制の構築及び複雑な災害現場での災害対応力の向上を目的とする。

2 訓練主眼

- (1) 災害発生時初動対応力の向上
- (2) 災害拠点病院としての役割確認と機能向上
- (3) 大規模災害現場の状況評価能力の向上
- (4) 大規模災害発生時における指揮命令系統の確立
- (5) 聖マリア病院と久留米消防署各隊の情報の共有及び連携強化
- (6) 聖マリア病院 DMAT と久留米消防署高度救助隊の連携強化

3 訓練日時

2016年9月8日（木）

13時30分～16時00分（聖マリア病院・久留米消防署総合防災訓練）

16時00分～16時30分（検討会：DMATと久留米消防署）

4 訓練場所

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 旧小児病棟周辺
久留米市津福本町422

5 訓練参加隊

- (1) 聖マリア病院（計100名程度）
病院長、防火・防災管理者、DMAT、自衛消防隊、運営要員等
（訓練参加要員編成については別途計画）
- (2) 久留米消防署（計71名）
指揮隊、消火隊、救急隊、高度救助隊、訓練進行、評価者、安全管理、傷病者役
- (3) 筑後地域消防指令センター

6 訓練想定

2016年9月8日13時30分に耳納活断層を震源とする震度6強の大地震が発生、久留米地方で甚大な被害が発生し、聖マリア病院においても旧小児病棟が一部被災するとともに火災が発生、負傷者等が多数発生している模様

7 訓練内容（※別添訓練スケジュール参照）

大規模地震によって被災した旧小児病棟での災害対応訓練を、聖マリア病院と久留米消防署合同にて以下のとおり訓練を実施する。

また、本訓練は「ブラインド方式」とする。

(1) 聖マリア病院

- ア 13時30分に「緊急地震速報」が鳴動し地震が発生する。
- イ 聖マリア病院長の下、防火・防災管理者等が中心となり、消防計画に定められた地震発生時における対処行動をとる。（災害対策本部設置、通報連絡、避難誘導、救出、救護等）
- ウ 筑後地域消防指令センターへ地震による救助要請及び火災発生119番通報を行う。
- エ 地震発生時における災害拠点病院としての準備行動をとる。
- オ 自衛消防隊やDMAT等の編成を行う。
- カ 久留米消防署が病院到着後情報伝達するとともに連携し、傷病者の救出・救護を行う。

(2) 久留米消防署

- ア 第1中高層火災指令により久留米消防署本署から出動
- イ 事前に指定された駐車位置に部署
- ウ 事前に指定された位置に現場指揮本部を設置
- エ 事前に指定された位置に応急救護所を設置
- オ 聖マリア病院と連携し消防活動（消火・救出・救護等）を実施

(3) 筑後地域消防指令センター

- ア 聖マリア病院から、地震による救助要請及び火災発生119通報を受信
- イ 久留米消防署訓練参加隊に第1中高層火災指令
- ウ 聖マリア病院へ情報収集
- エ 指揮隊との無線運用